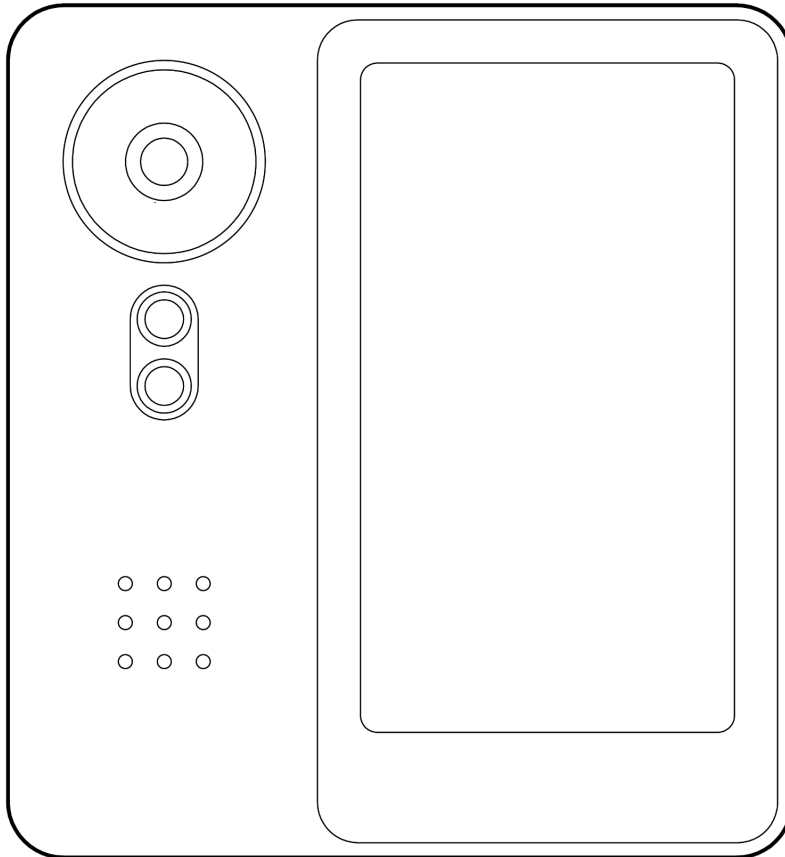


AF64 Access Station Pro



ドキュメント

ドキュメントの詳細

バージョン

V1.0 20260213

(V1.0 2026年2月13日公開済み)

ファームウェア

ファームウェアのバージョンは、Verkada Command (command.verkada.com)で確認できます。

製品モデル

これはAF64-HWモデルの設置ガイドです

© Copyright 2026 Verkada Inc.無断複写・転載を禁じます。

VerkadaおよびVerkadaロゴは、Verkada Inc.(「Verkada」)の登録商標またはサービスマークです。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Verkadaは、随時予告なしに本ドキュメントを変更することがあります。掲載されている情報は不正確または古い情報である可能性があり、Verkadaは本ドキュメントの内容を維持、管理する義務を負いません。すべての情報は「現状有姿」で記載されており、明示または黙示を問わず、一切の保証をいたしません。Verkadaは、本ドキュメントの使用に起因するあらゆる損害(直接的、間接的、特別、偶発的、懲罰的、または結果的損害を含むがこれらに限定されない)に対する責任を負いません。

Verkada製品に関する知的財産権は、すべて Verkadaの独占的な所有物であり、Verkadaに帰属するものとします。Verkada製品の使用に関しては、Verkadaのエンドユーザー契約または Verkadaとのその他の締結された契約に従うものとします。Verkada製品を使用または配布するための明示的または黙示的なライセンスが、本ドキュメントにより付与されることはありません。

Verkadaの事前の書面による同意がない限り、本ドキュメントの販売、再販、使用許諾、再許諾を行うことはできず、譲渡することもできません。Verkadaの書面による明示的な同意がない限り、本ドキュメントの全部または一部を複製することはできません。



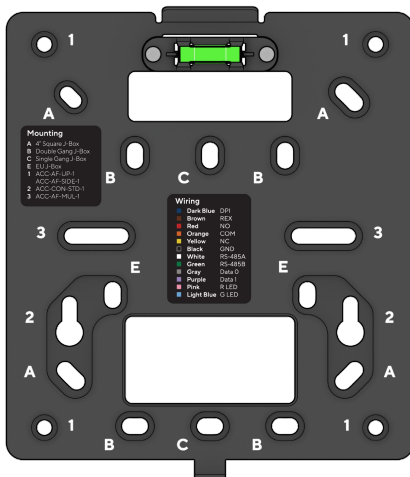
はじめに 技術仕様

センサー解像度	5 MP (2592 x 1944)	
レンズタイプ	単焦点	
画像センサー	1/2.8インチプログレッシブ CMOS	
焦点距離	2.12 mm	
アイリス	単焦点	
F値	F2.1	
視野	水平: 130°、垂直: 100°、対角: 160°	
IR範囲	15 m (50フィート) 低光量下	
入力	REX入力 1点 DPI入力 1点	
リレー出力	ドライリレー 1点、30 V @ 1 A (抵抗負荷)	
出力	RS-485出力 (RS-485 A、RS-485 B) 1個	
寸法	153 mm (高さ) x 141 mm (幅) x 34 mm (奥行き)	
重量	804 g	
電源入力	IEEE 802.3at PoE+	
消費電力	25.5 W	
接続方法	イーサネット: ネットワーク / PoE接続用の 10/100/1000 Mbps RJ-45ケーブルコネクタ	
動作温度	-40~50°C 湿度 5~90%、結露なし	
等級	IP65、IK06	
タンパー検知	あり	
対応するコントローラ	AF64で直接動作、または RS-485やLAN接続経由で Verkada アクセスコントローラに接続して動作	
対応 認証情報 テクノロジー	低周波 (125 kHz) 高周波 (13.56 MHz) モバイル NFC (13.56 MHz)	Bluetooth Low Energy (2.4 GHz) 顔認証ロック解除 PINコード (4~16桁)
顔認証ロック解除	認証範囲: 0.3~最大 1.5 m 認証高さ: 1.0~2.0 m	顔の最大認識数: 25,000 3D+IR ライブネス検出
ディスプレイ	5.5インチ IPS カラー LCD 静電容量式タッチスクリーン (1280 x 720)	
付属品	表面取付プレート、T10ドライバー、1インチ壁用ネジ 4本、1インチ壁用アンカー 4本、 8-32x1インチジャンクションボックスネジ 4本、6-32x1インチジャンクションボックスネジ 4本、グロメットパンチ、 1/〇ケーブル	
取り付けオプション	壁面またはジャンクションボックスへの取り付け用のサーフェスマウントプレート (付属)	

はじめに 同梱物



Access Station Pro



取付プレート



T10トルクスセキュリティドライバー



8-32のマシンネジ(4本)
長さ:1インチ ドライブ:プラスドライバー



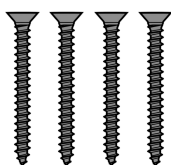
6-32のマシンネジ(4本)
長さ:1インチ ドライブ:プラスドライバー



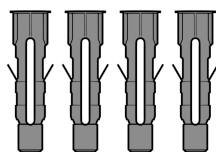
グロメット
(デバイスに装着済み)



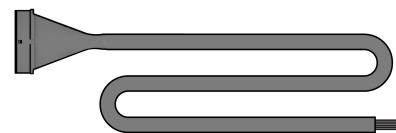
グロメットパンチ



壁用取付ネジ(4本)長さ:1.5インチ
ドライブ:プラスドライバー



壁用アンカー(4個)



1/0ケーブル

必要なもの

- スマートフォンまたはノートパソコン
- #2プラスドライバーと電動ドリル
- 壁用アンカー用の1/4インチ(6 mm)ドリルビット
- 下穴用の5/64インチ(2 mm)ドリルビット
- 外径0.2~0.25インチ(5~6.5 mm)のCat5またはCat6イーサネットケーブル

コミッショニング

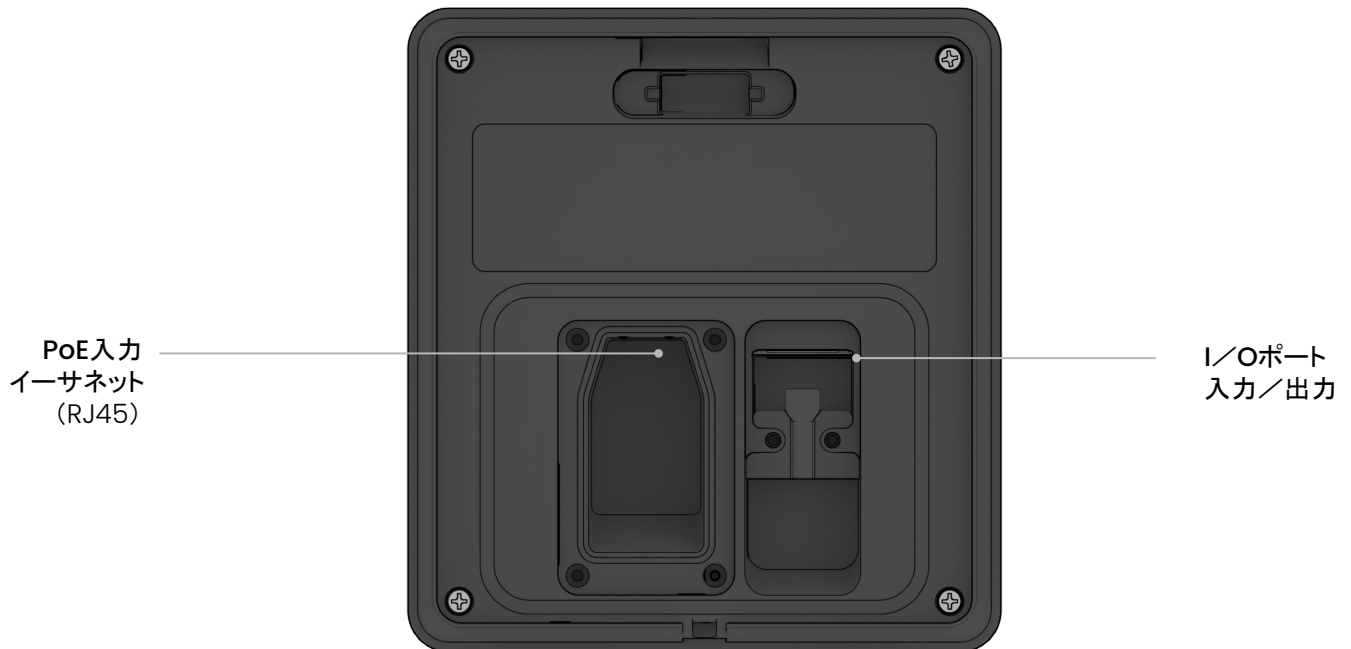
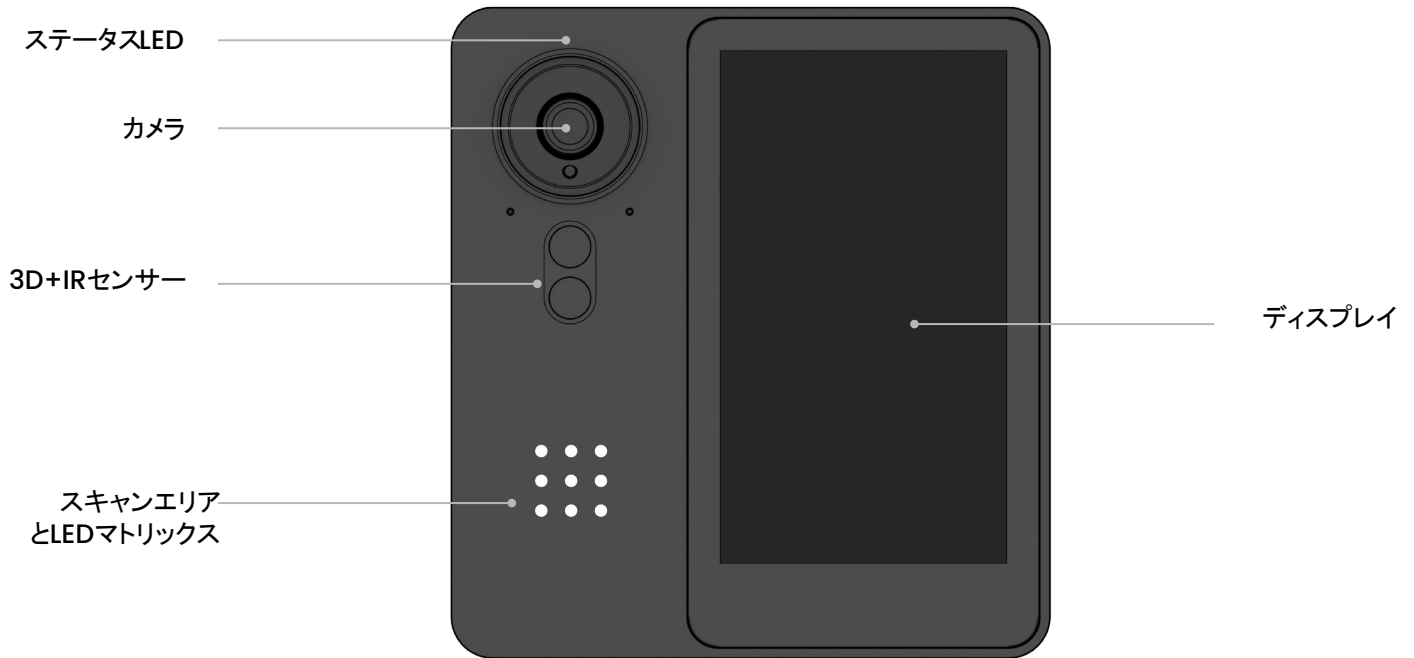
製品のQRコードをスキャンすると、登録と設定を簡単に行うことができます。

手動での製品登録をご希望の場合は、こちらのURLにアクセスしてください:

verkada.com/start



はじめに
概要



はじめに

ステータスLEDの動作

色なし

デバイスが動作中でオンラインです。



オレンジ色の点灯

デバイスがオンで起動中です。



オレンジ色の点滅

デバイスがファームウェアをアップデート中です。



赤色の点滅

特定のエラーを示しています。下の「ネットワークエラー」をご覧ください。



赤色の点灯

サポートに連絡してください。

ステータスLED



ネットワークエラー

特定のネットワークエラーは、ステータス LEDで通知され、LEDはエラー状況に応じ、点滅する回数が決まっています。

1回の赤い点滅: IPアドレスがありません
カメラがIPアドレスを受信していません。

2回の赤い点滅: IPアドレスが重複しています
カメラがLAN上で重複したIPアドレスを検出しました。

3回の赤い点滅: ゲートウェイがありません
カメラが設定済みゲートウェイにアクセスできません。

4回の赤い点滅: スイッチがありません
カメラはPoEに接続されていますが、スイッチに接続できません。



ステータスLEDが**5回赤く**点滅している例

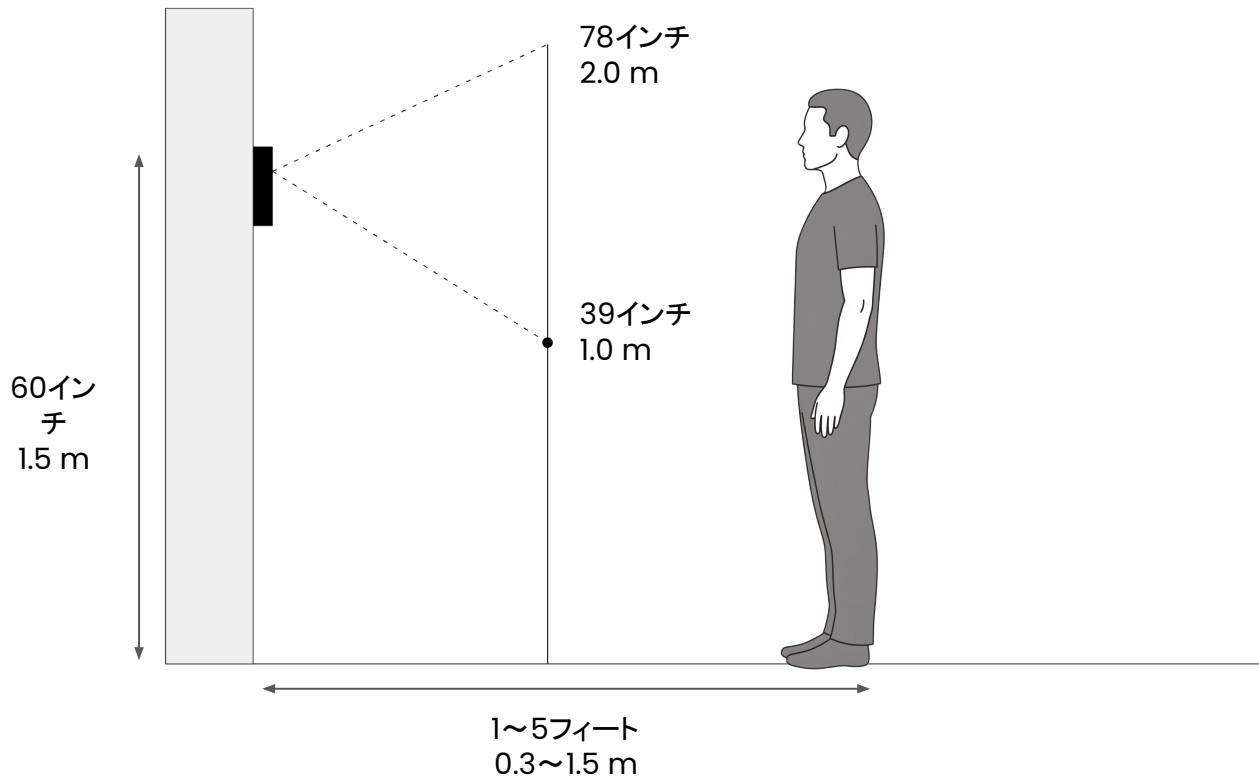
5回の赤い点滅: DNSのエラーです
カメラがVerkadaのホスト名を解決できません。

6回の赤い点滅: NTPのエラーです
カメラがNTPサーバからの応答を受信できません。

7回の赤い点滅: Commandに接続されていません
起動後にVerkadaのエンドポイントに到達できません。



はじめに 配置に関するベストプラクティス



取り付け位置がその土地の建築関連の法律と規制に準拠していることを確認してください。

取付プレートの上端を地上から約60インチ(1.5 m)の高さに配置するのが、顔認証ロック解除に最適な設置高さです。顔認証ロック解除の高さ範囲は、約39インチ(1.0 m)～78インチ(2.0 m)です。

顔認証ロック解除の最小距離は1フィート(0.3 m)です。顔認証ロック解除の最大距離は5フィート(1.5メートル)で、Commandでより短い距離に設定変更することも可能です。

最適なパフォーマンスを確保するために、以下のような環境にデバイスを設置することは避けてください。

- デバイスに直射日光が当たる
- 強い逆光や影がある

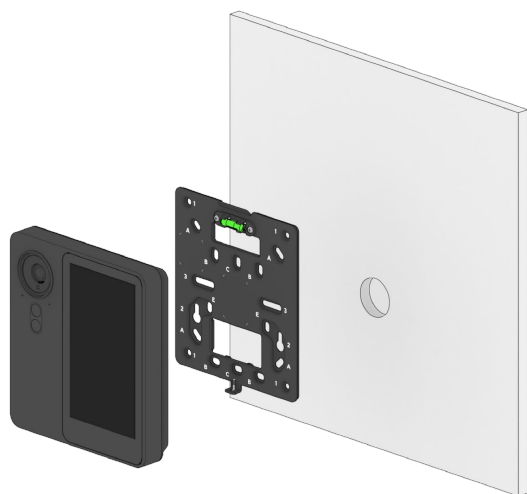
複数のデバイスを使用する場合、デバイス同士が真正面に向かい合うような配置は避けてください。

準備

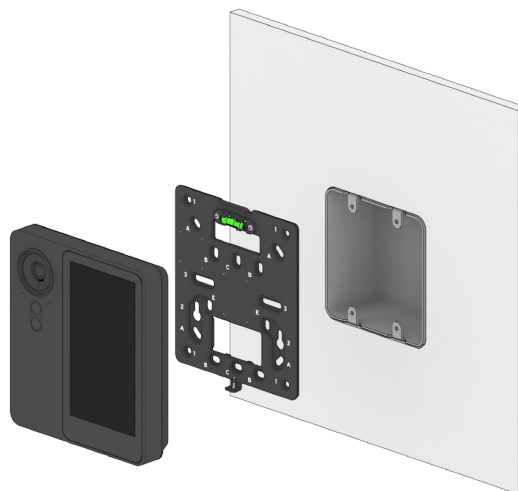
取付プレートの概要

AF64は、付属の取付プレートを使用して、壁またはジャンクションボックスに直接取り付けることができます。

壁用マウント



ジャンクションボックスへの取り付け



取付プレートには、以下の取り付け条件に対応する穴パターンがあります。

A 壁用／正方形ジャンクションボックス
(4インチ／101.6 mm)

B ダブルギャングジャンクションボックス

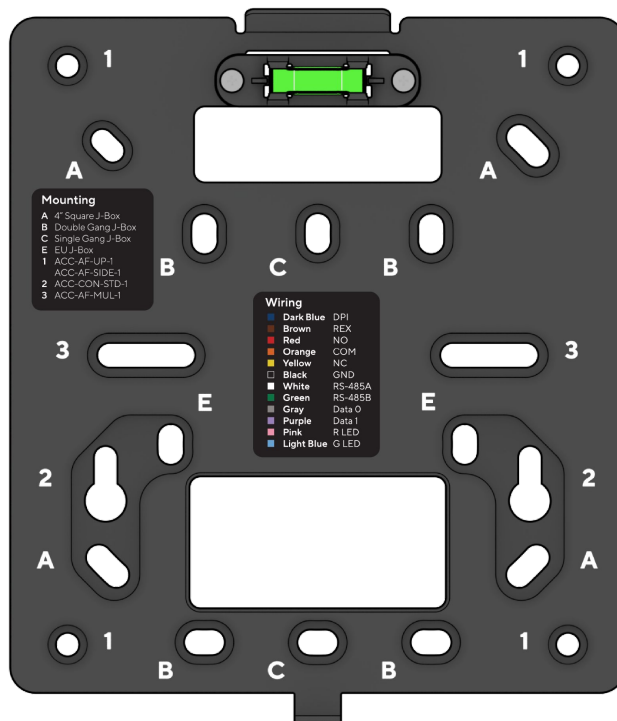
C シングルギャングジャンクションボックス

E ヨーロッパ向けジャンクションボックス

1 ACC-AF-UP-1、ACC-AF-SIDE-1

2 ACC-CON-STD-1

3 ACC-AF-MUL-1



設置方法

壁への取り付け

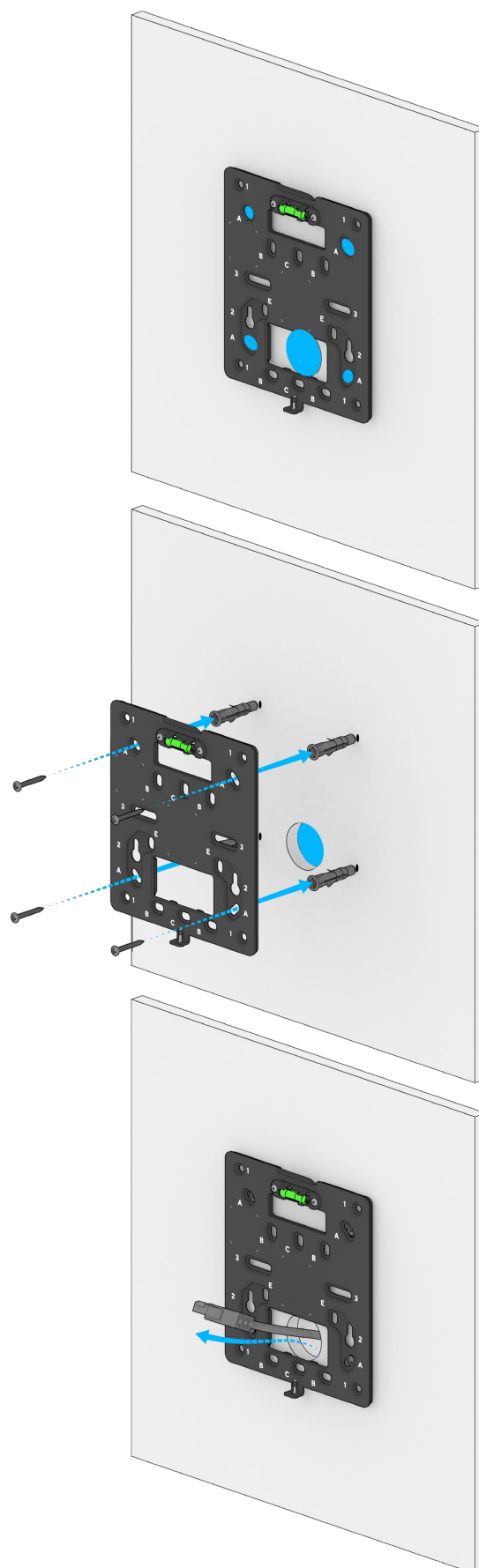
取付プレートをテンプレートとして使用し、穴パターンAと配線通し穴の位置に印を付けます。

ケーブル用に7/8インチ(22 mm)の穴を開けます。

取り付け穴には、ドリルで5/64インチ(2 mm)の下穴を開けます。壁用アンカーを使用する場合は、1/4インチ(6 mm)の下穴を開けます。

壁用ネジを下穴に打ち込み、取付プレートを壁に固定します。

イーサネットケーブルを配線通し穴に通します。

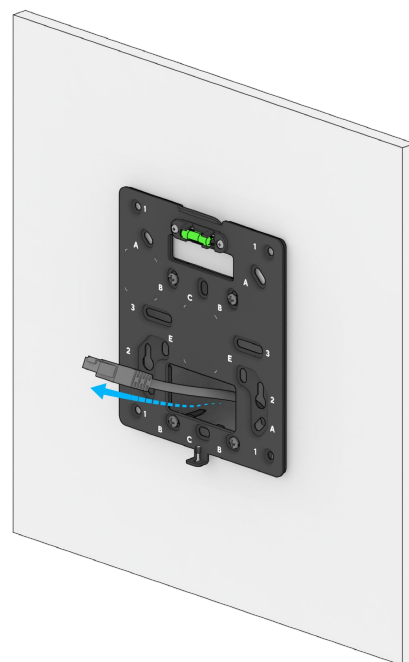


設置方法

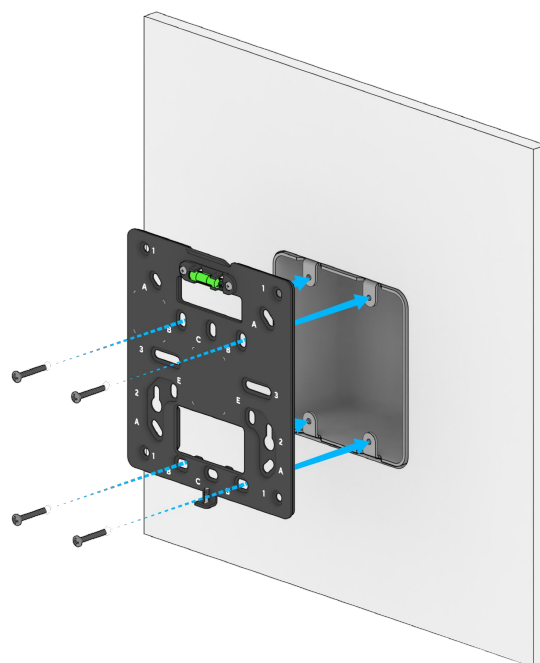
ジャンクションボックスへの取り付け

ケーブルを取付プレートに通します。

取付プレートをジャンクションボックスのアンカー穴（A、B、C、またはE。ジャンクションボックスによって異なる）に合わせてみます。

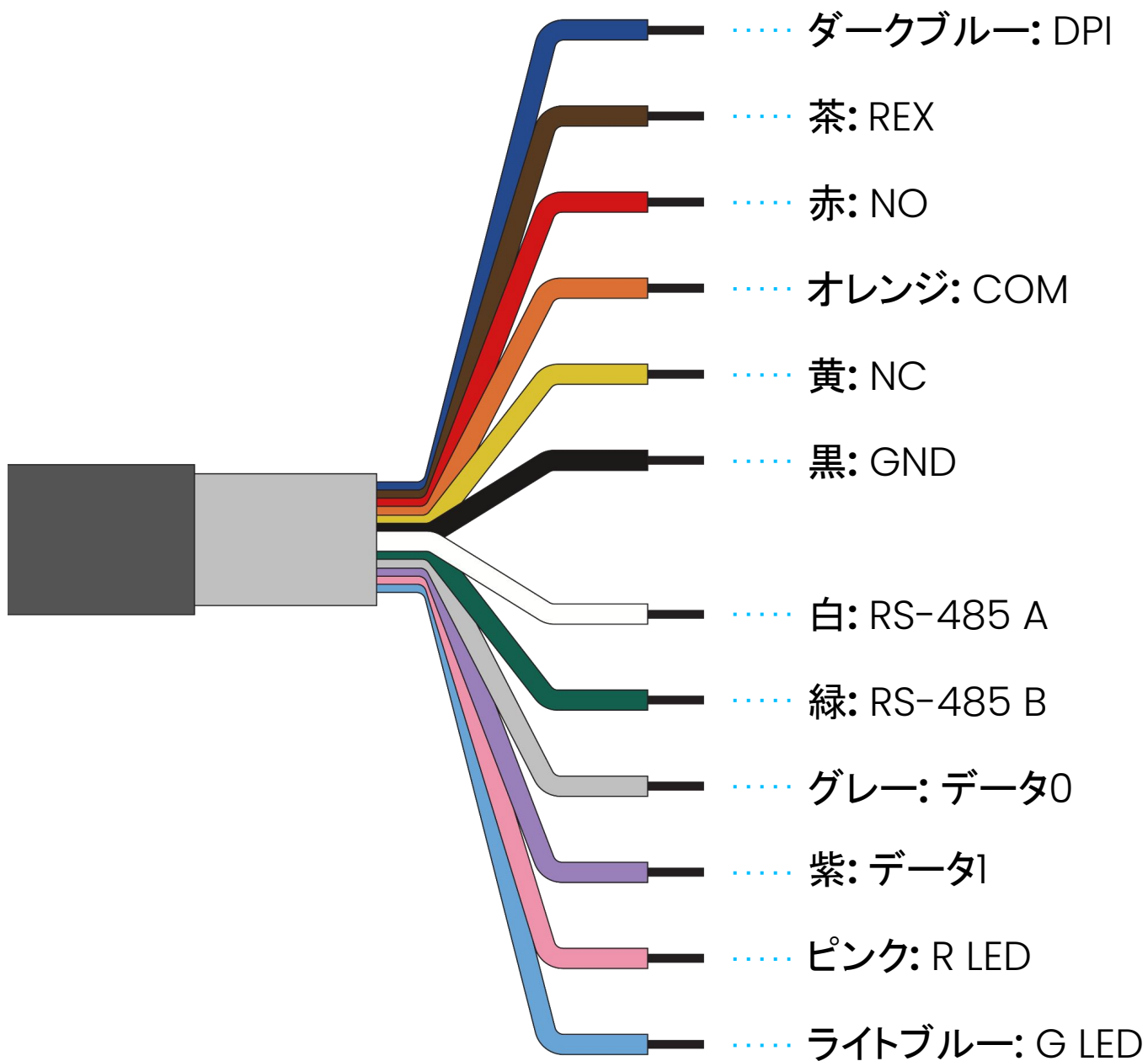


マシンネジ（ジャンクションボックスによっては#8-32または#6-32のネジ）を使用して、取付プレートをジャンクションボックスに装着します。



設置方法

I/Oケーブルの概要



設置方法

ドアの配線 2/4

⚠ 警告

配線作業をする前に、デバイスの電源が入っていないことを確認してください。

オプション2: Verkadaアクセスコントロールユニットにリーダーとして接続

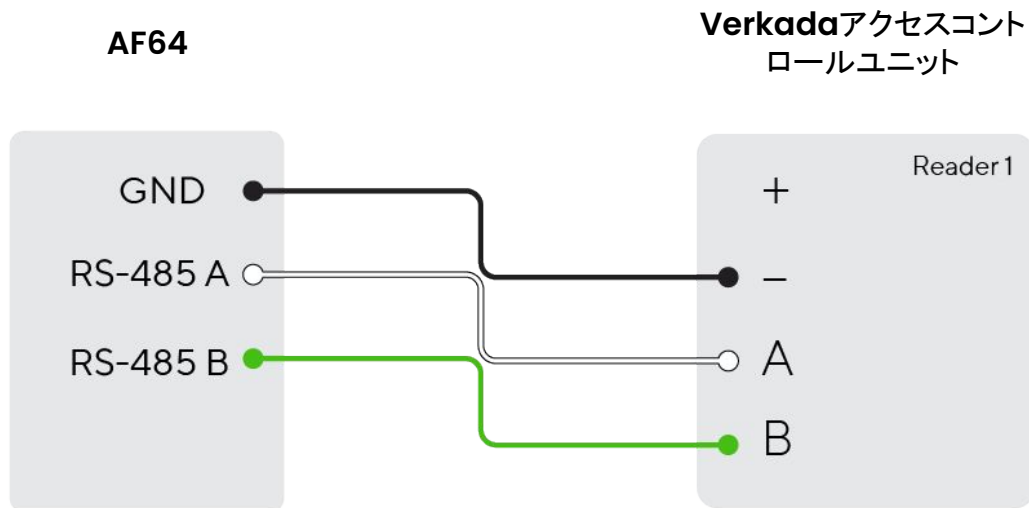
このデバイスは、Verkadaアクセスコントロールユニット(ACU)のリーダーとして設定できます。

この設定では、ドアロック、DPI、およびREXを、ACUの設置ガイドに従ってACUに配線する必要があります。

デバイスは、A)RS-485経由でACUに直接配線するか、B)LANネットワーク接続を介してACUに接続できます。

A)RS-485で直接接続

I/OケーブルをACUのRS-485ポートに配線します。



B)ネットワーク接続

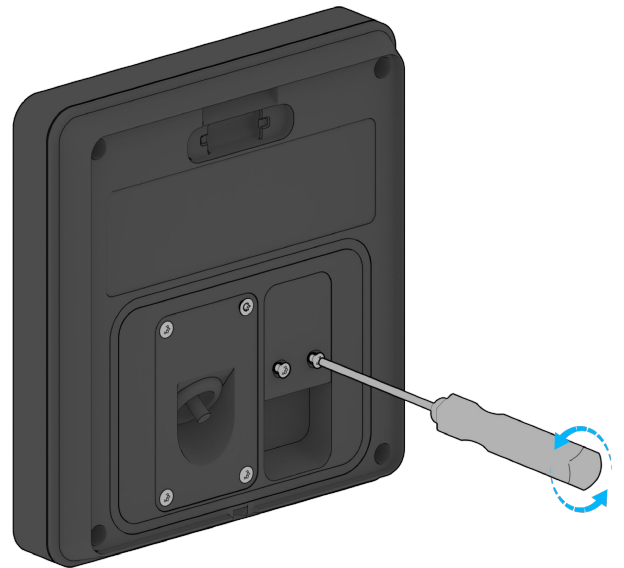
I/Oケーブルを配線する必要はありません。



設置方法

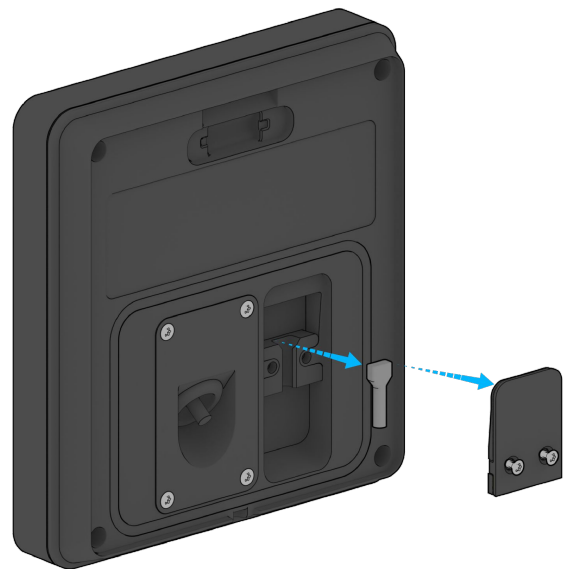
ドアの配線 3/4

T10トルクスセキュリティドライバーで、デバイスのI/Oケーブルドアのネジ2本を緩めます。



I/Oケーブルドアを取り外して、I/Oポートにアクセスします。

I/OケーブルエリアからI/Oケーブルプラグを取り外します。

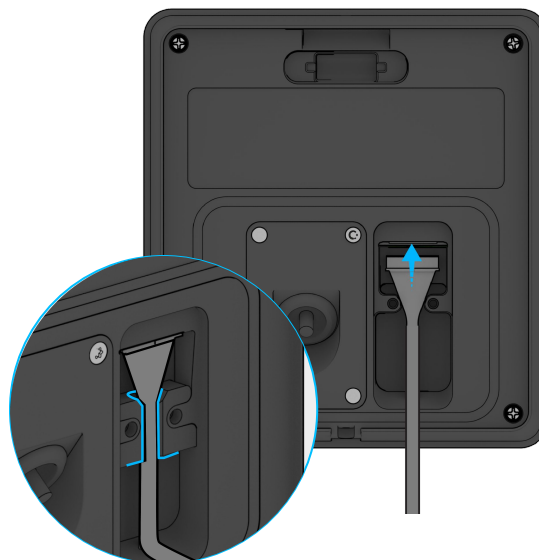


設置方法

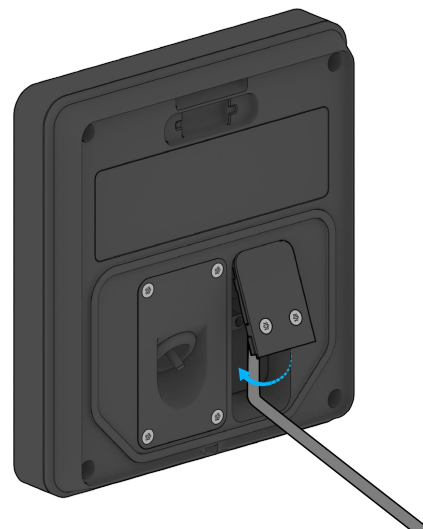
ドアの配線 4/4

I/OケーブルをデバイスのI/Oポートに差し込みます。

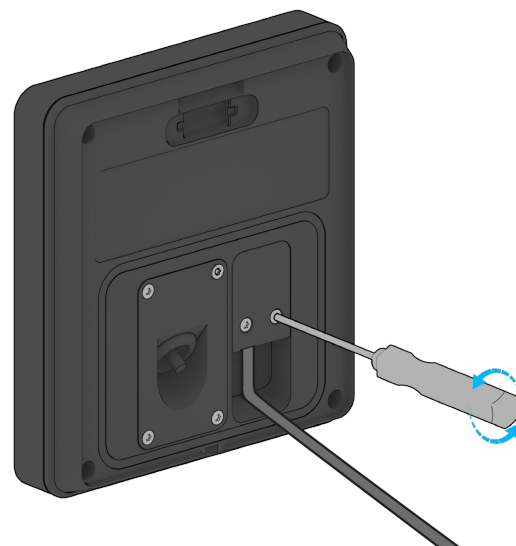
コネクタをしっかりと押し込んで、完全に装着されたことを確認します。



I/Oケーブルのドアカバーをデバイスに引っ掛け、押し込んでドアを閉めます。



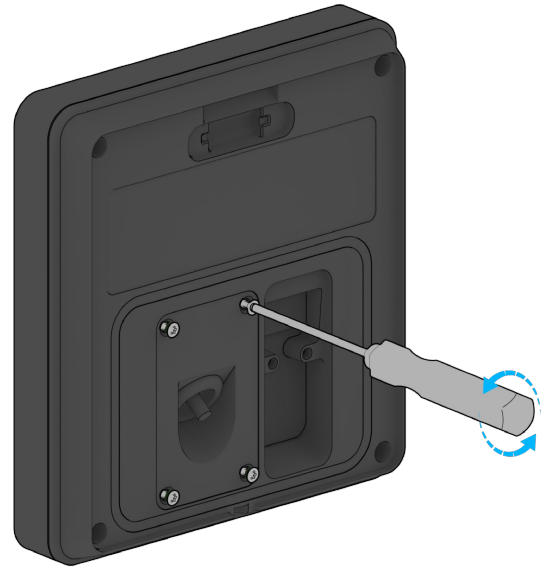
2本のT10セキュリティトルクスネジを締め、I/Oケーブルドアを固定します。



設置

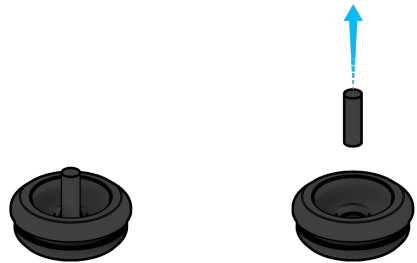
イーサネットケーブルの配線 1/2

デバイスのイーサネットケーブルドア(左側)にある4本のT10セキュリティトルクスネジを緩めます。イーサネットケーブルドアを取り外して、イーサネットポートにアクセスできるようにします。

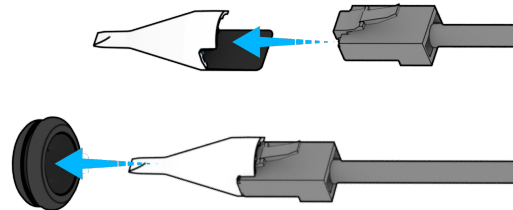


イーサネットケーブルドアからグロメットを取り外します。

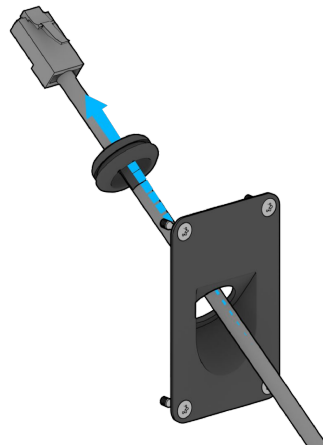
円筒タブをしっかりと引っ張ってグロメットの中央を取り外します。



設置キットのグロメットパンチを使用して、イーサネットケーブルのヘッド部をグロメットに通します。



イーサネットケーブルとグロメットをPoEドアの開口部に通します。

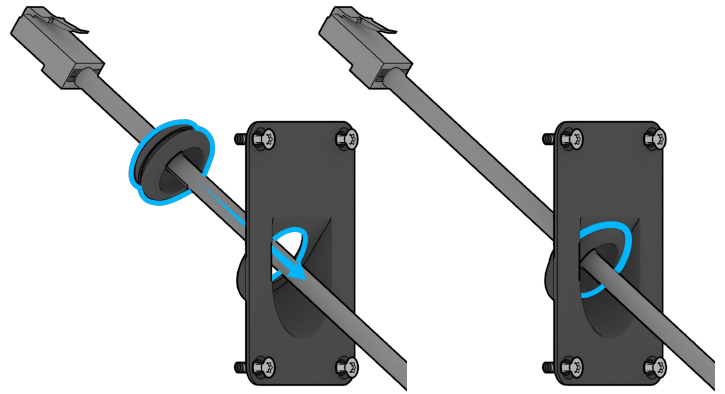


設置方法

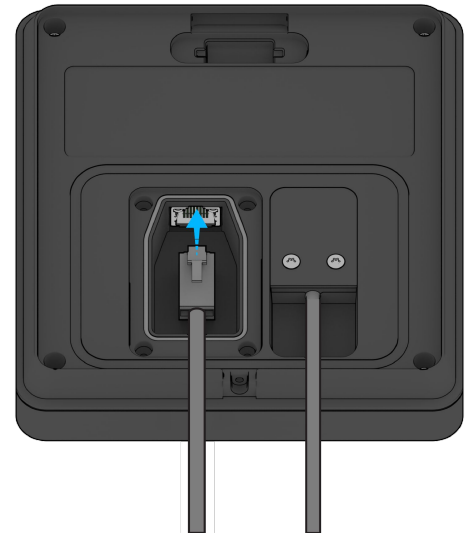
イーサネットケーブルの配線 2/2

グロメットをイーサネットケーブルドアのグロメット穴に押し込みます。

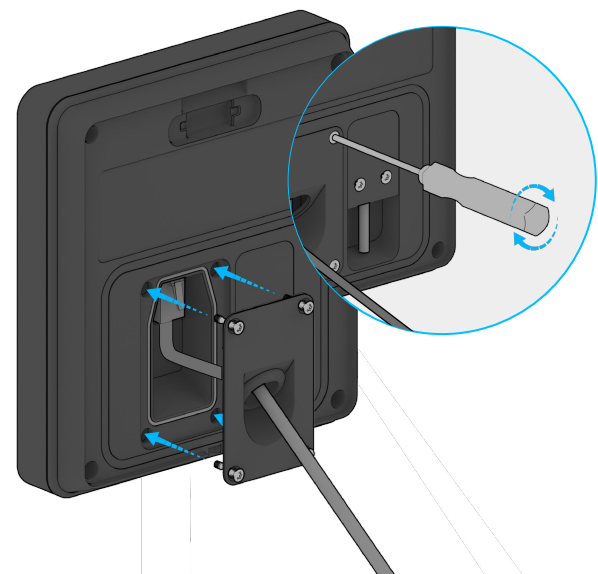
しっかり密閉できるようにグロメットが完全に装着されていることを確認してください。



RJ-45ケーブルをデバイスのイーサネットポートに差し込みます。

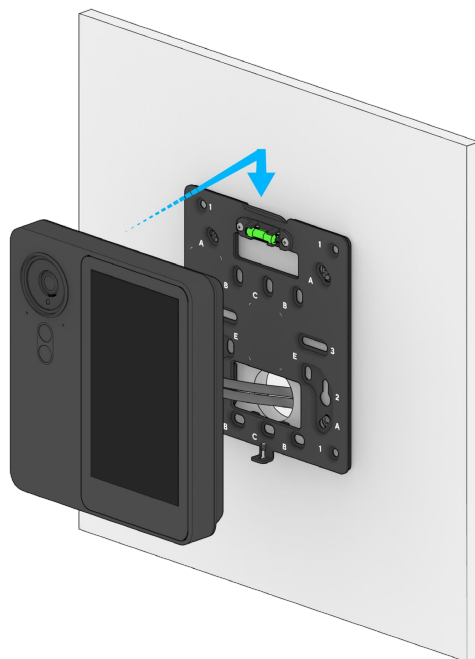


4隅のT10セキュリティトルクスネジを締めてイーサネットケーブルドアを固定します。

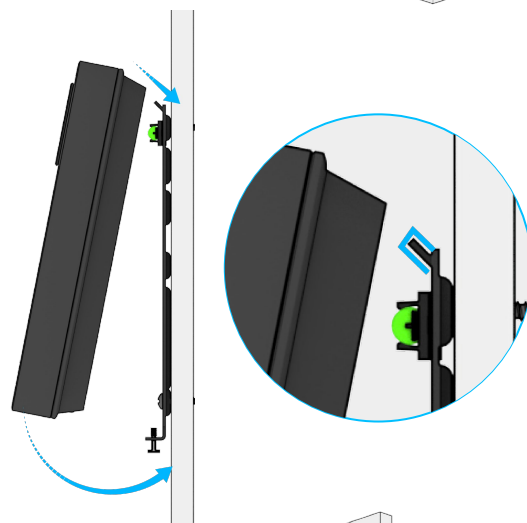


設置 固定

デバイスをマウントプレート上端のフックに引っ掛けます。



デバイスの下の端をゆっくりと取付プレートに押し当てます。
デバイスが壁面と面一になるように収まります。



T10セキュリティトルクスドライバーを使用して、取付プレートの下部にあるT10セキュリティトルクスネジを締めてデバイスを固定します。



<p>FCC 認証情報</p>	<p>この装置は、FCC 認証規則の第 15 部に準拠しています。操作する際に、次の 2 つの条件が適用されます。</p> <p>(1) この装置が有害な干渉を引き起こさず、かつ (2) この装置が受信したあらゆる干渉に耐えられる必要があり、これには望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉が含まれます。</p> <p>この機器は、FCC 規則第 15 部に従ってテストされ、クラス B デジタルデバイスの規制に準拠していることが確認されています。</p> <p>これらの制限は、住宅への設置における有害な干渉に対して適切に保護するために設計されています。</p> <p>この機器は、高周波エネルギーを生成、使用、放射する可能性があり、指示に従って設置・使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。</p> <p>ただし、特定の設置状況において干渉が発生しないことを保証するものではありません。</p> <p>この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合（装置の電源を切ったり入れたりすることで判断可能）、以下の手段で干渉の修正を試みることを推奨します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変える。 ● 機器と受信機の間隔を広げる。 ● 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。 ● 販売店または経験豊富なラジオ／テレビ技術者に相談する。 <p>FCC 認証に関する注意： コンプライアンスに責任を持つ当事者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、この機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があります。</p> <p>この送信機は、ほかのアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、同時に使用したりしてはいけません。</p> <p>電磁界ばく露に関する声明：この製品は、管理されていない環境に対して定められた FCC RF ばく露限度に準拠しており、本マニュアルに記載されている意図に沿って操作する場合は安全です。</p> <p>この装置は、ラジエーターと身体、または周囲の人との間を 20cm 以上離して設置および操作する必要があります。</p>
<p>IC 認証情報</p>	<p>このデバイスは、ISED のライセンス免除 RSSI に準拠しています。操作する際に、次の 2 つの条件が適用されます。</p> <p>(1) この装置が有害な干渉を引き起こさず、かつ (2) この装置が受信したあらゆる干渉に耐えられる必要があり、これには望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉が含まれます。</p> <p>Le présent appareil est conforme aux CNR d'ISED applicables aux appareils radio exempts de licence.</p> <p>L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes :</p> <p>(1) le dispositif ne doit pas produire de brouillage préjudiciable, et (2) ce dispositif doit accepter tout brouillage reçu, y compris un brouillage susceptible de provoquer un fonctionnement indésirable.</p> <p>電磁界ばく露に関する声明：この製品は、管理されていない環境に対して定められたカナダの RF ばく露に準拠しており、本マニュアルに記載されている意図に沿って操作する場合は安全です。この装置は、ラジエーターと身体の間を 20cm 以上離して設置および操作する必要があります。</p> <p>Déclaration d'exposition aux radiations: Le produit est conforme aux limites d'exposition pour les appareils RF pour les Etats-Unis et le Canada établies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.</p>

<p>IEC 62368-1</p>	<p>デバイスは、外部施設への経路指定なしで PoEネットワークにのみ接続されます。</p>
<p>IEC 60825-1:2014</p>	<p>本製品は、2019年5月8日付の「Laser Notice No. 56」に記載されている通り、IEC 60825-1 第3版への適合を除き、米国連邦規定第 21編の第1040.10項および第1040.11項に準拠しています。</p> <p>警告: これらのデバイスには1つまたは複数のレーザーが搭載されています。ユーザーガイドに記載されている以外の使用、修理、または分解は、故障を引き起こす原因となり、目に見えない赤外線レーザーの有害な放射により危険なばく露を招く可能性があります。この装置の修理・点検は、Appleまたは認定サービスプロバイダに依頼してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>クラス1 レーザー製品</p> </div>



付録 サポート

この度はVerkada製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。何らかの理由で問題が発生した場合、またはサポートが必要な場合は、24時間年中無休のテクニカルサポートチームまで、すぐにご連絡ください。

よろしくお願ひいたします。
Verkadaチーム一同
verkada.com/support

